

セキュリティ監査・ アセスメントサービス

EY新日本有限責任監査法人
Technology Risk事業部

近年のデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展や、高度化／複雑化するサイバー攻撃、テレワーク等の勤務環境の変化により、連日のようにセキュリティインシデントが発生しており、多くの組織においてセキュリティリスクは重要な経営課題となっています。

EYでは、サイバーセキュリティ・情報セキュリティの知見と豊富な実績を基に、国内外で広く利用されているスタンダードを用いて監査・アセスメントを行い、課題の抽出及び具体的な改善案を提示します。また、EYのグローバルなネットワークを活用し、海外拠点もスコープに含めることで、グローバル全体での管理態勢の維持・向上に貢献します。

■ EYができること

限られた経営資源を効果的に投下していくには、経営層が適切な意思決定を行えるよう、抽出された課題についてリスクの可視化や優先度付けを実施することが必要です。

EYでは国内外の多様なフレームワーク*を利用し、ニーズに沿った監査・アセスメントを実施することが可能です。

* 以下ガイドライン・規格は例示

また、監査・アセスメントに当たっては不正調査等に係るフォレンジックの専門家*とともに、実機での設定調査やセキュリティ対

策製品に関する技術面の管理策、及び脆弱(ぜいじゃく)性管理の調査等、カスタマイズが可能です。

* フォレンジックのプロフェッショナルが提供するサービス: Privacy & Cyber Response

調査から訴訟、規制当局の対応に至るまで、企業が複雑なサイバーインシデントに適切に対処できるように、

EY Privacy & Cyber Response (P&CR) チームのプロフェッショナルが支援

グローバルスタンダード

NIST CSF, SP800シリーズ
ISO/IEC 27001/2

国内スタンダード

サイバーセキュリティ経営ガイドライン
情報セキュリティ管理基準

EYメソドロジー

Cyber Program Accelerator
サイバーヘルスチェック

セクター固有

※Auto、金融、防衛産業等、個別セクターごとの
支援については別サービスをご参照ください

■ ■ ■ ■
The better the question.
The better the answer.
The better the world works.



Shape the future
with confidence

■ 当サービスの流れ

	事前準備	調査	リスク評価・課題整理	報告
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント対象の概要を把握する ■ 監査・アセスメント手続を策定する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント手続書に基づき、調査を実施し、課題を抽出する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 抽出された課題について優先度付けを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント結果について報告を行う
想定タスク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象となるシステム・組織等の概要把握 ■ ガイドライン等に基づく手続書の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現地調査 ■ 質問票送付 	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスク評価 ■ 改善策の協議 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント結果報告会の開催
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント手続書 ■ 依頼資料一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査調査書・アセスメント結果 ■ 課題一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題／改善策の一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査・アセスメント結果報告書

■ 要望に応じて以降のフェーズもサポート可能



お問い合わせ先

EY新日本有限責任監査法人 Technology Risk事業部

URL: ey.com/ja_jp/technology-risk

サービス担当者またはウェブサイトお問い合わせフォームよりお問い合わせください

EY | Building a better working world

EYは、クライアント、EYのメンバー、社会、そして地球のために新たな価値を創出するとともに、資本市場における信頼を確立していくことで、より良い社会の構築を目指しています。

データ、AI、および先進テクノロジーの活用により、EYのチームはクライアントが確信を持って未来を形づくるための支援を行い、現在、そして未来における喫緊の課題への解決策を導き出します。

EYのチームの活動領域は、アシュアランス、コンサルティング、税務、ストラテジー、トランザクションの全領域にわたります。蓄積した業界の知見やグローバルに連携したさまざまな分野にわたるネットワーク、多様なエコシステムパートナーに支えられ、150以上の国と地域でサービスを提供しています。

All in to shape the future with confidence.

EYとは、アーnst・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーnst・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY新日本有限責任監査法人について

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザーサービスなどを提供しています。詳しくは、ey.com/ja_jp/about-us/ey-shinnihon-llcをご覧ください。

© 2026 Ernst & Young ShinNihon LLC.

All Rights Reserved. ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp